

2024年3月期 第1四半期 決算実績概況資料

2023年8月1日

株式会社西武ホールディングス（9024）

<https://www.seibuholdings.co.jp/>

I. エグゼクティブ・サマリー

P3

II. 中期経営計画における取り組みの進捗状況

P8

III. セグメント情報及び営業指標

P20

IV. 決算実績詳細

P29

V. 連結業績予想、足元の動向

P33

VI. 補足資料

P37

2024年3月期第1四半期 決算サマリー

■ 2024年3月期第1四半期業績 (4ページ～)

- 人件費や動力費の増加があるものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行にともなう需要の増加を着実に取り込むとともに、値上げの取り組みにより、増収増益
- 業績予想に対して、営業収益および各段階利益は想定を上回り進捗

■ 中期経営計画の進捗 (8ページ～)

- 不動産回转型ビジネスにおける協業パートナーを決定
 - 協業パートナーと不動産ポートフォリオやBSマネジメントの検討を行うとともに、ノウハウの相互共有と不動産事業の強化に努める
 - 2024年5月に私募ファンド・REITへの組み入れ対象物件を決定・開示、2025年4月にAM会社設立を予定
 - 中期的にはAUM3,000億円以上への拡大を目指す

■ 2024年3月期業績予想、足元の動向 (33ページ～)

- 第2四半期以降においても各種経費のコントロールや動力費の下振れなどによる固定費減少が見込まれる一方、今後も期初に想定した通りの回復動向を辿っていけるかは現段階ではまだ注視が必要な状況であることから、5月11日公表予想を据え置き

<足元の動向>

- 鉄道業の改札通過人員 (7/1～7/21) 定期は2019年同時期の80%、定期外は同93%
- 国内ホテル業の宿泊予約状況 (7/24時点)
 - 2023年7月のRevPARは2019年7月の103%程度の見込み
(ADRは2019年7月の124%程度、稼働率(実数)は66%程度)
 - 2023年8月のRevPARは2019年8月の103%程度を見込む
(ADRは2019年8月の120%程度、稼働率(実数)は72%程度)

2024年3月期 第1四半期 連結決算実績

- 新型コロナウイルス感染症の5類移行にともなう需要の増加を着実に取り込むとともに、値上げの取り組みにより、対前年同期で増収（営業収益は12.4%増の1,162億円）
 - － 西武鉄道運輸収入+10.6%、国内ホテル業RevPAR+122.8%
- 人件費や動力費の増加があるものの、増収により各段階利益において増益
- 固定費は2020/3期1Q比で57億円減少

(金額単位：億円)

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)	
営業収益	1,034	1,162	+ 127	+ 12.4%
営業利益	76	146	+ 70	+ 92.2%
償却前営業利益 [※]	214	277	+ 63	+ 29.5%
経常利益	75	138	+ 63	+ 84.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	36	90	+ 54	+ 148.1%

※ 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

セグメント別営業収益

(金額単位：億円)

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要 (対前年同期) (+) 増加要因、(-) 減少要因
都市交通・沿線事業	343	363	+ 20	+ 5.9%	(+) 鉄道・バスの運輸収入の増加 (うち鉄道業におけるバリアフリー料金の収受9億円) (-) グループ内組織再編に伴う運営形態の変更による減少 (利益影響僅少)
ホテル・レジャー事業	457	530	+ 73	+ 16.0%	(+) 国内ホテルにおける利用客の増加、ADRの上昇 (+) 海外ホテル業における為替影響 (+) 国内外レジャー施設における利用客の増加 (-) 行政機関からの要請による新型コロナ感染拡大防止対策としての貸出ホテルの減少 (-) 一部資産の資産譲渡に伴う直営から運営受託への変更による減少 (ネット [※])△32億円 (参考) 仮に保有を継続していた場合との比較では△72億円
不動産事業	177	197	+ 20	+ 11.5%	(+) 造園請負工事の増収 (+) 一部オフィステナント入居に伴う賃料収入の増加
その他	117	134	+ 17	+ 14.5%	(+) 前期の横浜アリーナの改修工事に伴う休業の反動増 (+) 伊豆箱根事業および近江事業におけるバス、タクシー利用、観光需要の増加 (+) プロ野球観客動員数等の増加
調整額	△ 60	△ 63	△ 3	-	
連結数値	1,034	1,162	+ 127	+ 12.4%	

※ 国内ホテル業（保有・リース）およびスポーツ業（保有・リース）の減少と、国内ホテル業（MC・FC）およびスポーツ業（MC・FC）の増加をネットした金額。（22ページ参照）

(注) 2024/3期より報告セグメントを変更しております。（37ページ参照）
前年同期の数値については、変更後の区分により記載しております。

セグメント別営業利益・償却前営業利益

■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要 (対前年同期) (+) 増加要因、(-) 減少要因
都市交通・沿線事業	30	53	+ 23	+ 75.7%	(+) 営業収益の増加 (+) 一般管理費の減少 (-) 動力費・燃料油脂費、修繕費の増加
ホテル・レジャー事業	△ 3	35	+ 39	-	(+) 営業収益の増加 (うち、資産譲渡影響 (ネット) +11億円) (参考) 仮に保有を継続していた場合との比較では△22億円 (-) 人件費の増加
不動産事業	33	39	+ 6	+ 19.0%	(+) 営業収益の増加
その他	12	16	+ 3	+ 24.6%	(+) 営業収益の増加 (-) 人件費の増加
調整額	3	2	△ 1	△ 40.2%	
連結数値	76	146	+ 70	+ 92.2%	

■ 償却前営業利益

(金額単位：億円)

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要 (対前期) (+) 増加要因、(-) 減少要因
都市交通・沿線事業	79	103	+ 24	+ 30.4%	
ホテル・レジャー事業	44	74	+ 30	+ 68.7%	
不動産事業	62	68	+ 5	+ 9.3%	
その他	21	26	+ 4	+ 21.0%	
調整額	6	4	△ 1	△ 27.1%	
連結数値	214	277	+ 63	+ 29.5%	

(注) 2024/3期より報告セグメントを変更しております。(37ページ参照)
前年同期の数値については、変更後の区分により記載しております。

I. エグゼクティブ・サマリー P3

II. 中期経営計画における取り組みの進捗状況 P8

III. セグメント情報及び営業指標 P20

IV. 決算実績詳細 P29

V. 連結業績予想、足元の動向 P33

VI. 補足資料 P37

中期経営計画における取り組みの進捗状況（経営改革）

2024/3期 1Q

2024/3期 2Q以降

■ アセットライトな事業運営

- 私募ファンド・REITをはじめとした、不動産回転型ビジネスの検討開始を公表（大規模再開発が本格化する前の2025年4月の体制構築を予定）

- 不動産回転型ビジネスにおける協業パートナーを決定（16ページ参照）
 - ✓ 協業パートナーと不動産ポートフォリオやBSマネジメントの検討を推進
- 2024年5月に向けて、不動産回転型ビジネスに伴う流動化対象物件を検討

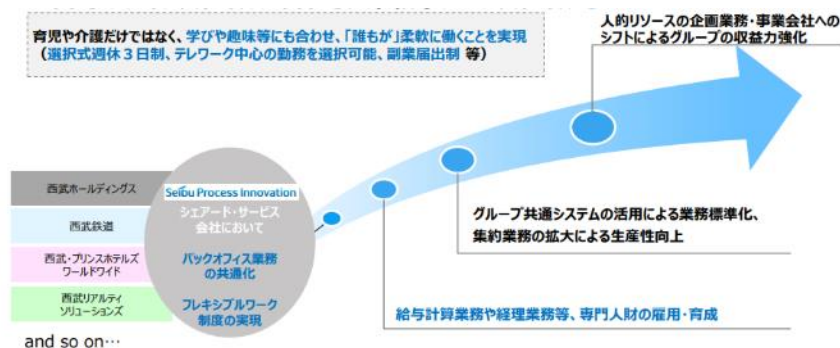
■ 損益分岐点の引き下げ

- 1Qの固定費は57億円減少（対2020/3期1Q）
 - ✓ ホテル・レジャー事業における一部資産譲渡や西武建設の株式譲渡により減少

- 需要動向を踏まえたコストコントロールを実施

■ バックオフィスの共通化（シェアード・サービス会社の設立）

- 2023年6月、シェアード・サービス会社（商号：株式会社西武プロセスイノベーション）運営開始

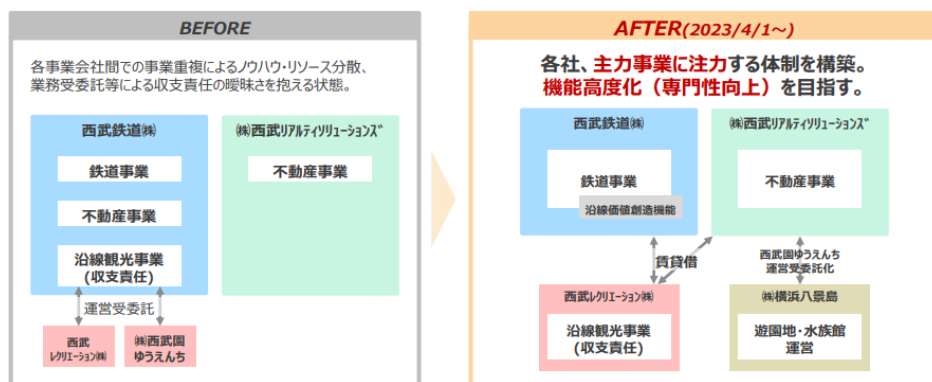


2024/3期 1Q

2024/3期 2Q以降

■ 都市交通・沿線事業の経営改革

- 都市交通・沿線事業において、収益力の強化やグループシナジーを発揮できる最善の体制を構築することをコンセプトに、不動産の移管および沿線観光事業の運営体制見直しを実施（2023年4月1日）



□ 収益力向上にむけた施策の実施

- ◆ 集客イベントの開催、有料列車の増発、および特急・座席指定料金の改定（2023年7月～）
- ◆ 駅業務のスマート化、保有車両数の削減、従業員エンゲージメント向上のための環境改善等

⇒ 固定費低減など損益構造の見直しに取り組んでいくものの、今後の需要状況や原材料価格の上昇によるコストの増加など事業環境を踏まえ、将来的な運賃改定に関しても、様々な角度から検討

□ 鉄道駅バリアフリー料金制度の活用によりバリアフリー設備の整備を推進

2023年3月18日、鉄道駅バリアフリー料金の収受を開始。今後ホームドアの新設（23駅62番線）等を推進

- ・年間徴収額（2022年8月届出時）：約49億円※2024/3期予想には44億円を織り込み
- ・全線対象に、1乗車あたり10円を基本として鉄道駅バリアフリー料金を旅客運賃に加算

中期経営計画における取り組みの進捗状況（経営改革）

2024/3期 1Q

2024/3期 2Q以降

■ニューノーマルに合わせたサービス変革

グループ内外との連携

- 株式会社読売新聞グループ本社と「伝統文化の振興にかかわるプロジェクト」に関する連携協定を締結。「伝統文化」をテーマにした上質かつユニークな体験創出に向けて連携（2023年5月）

アウトドア関連の事業領域拡大

- 西武グループの保有資産を活用したキャンプ場施設の第1号「浅間山キャンプ場 REASON : KITAKARUIZAWA」をオープン（2023年6月）



浅間山キャンプ場 REASON :
KITAKARUIZAWA

スポーツ事業の強化

- 「Blue MUSE Cup in大磯ロングビーチ」の開催（2023年5月）
初心者でも安心して参加できるSUP大会を開催。地元小学生の無料招待など地域連携、グループ資産のさらなる有効活用策や新規コンテンツの醸成を模索

シームレスな移動や暮らしの実現

- スマートロッカーを活用した物流ハブサービス「BOPISTA」を毎日受け取りが可能となるよう7月より稼働日を拡大し、サービス提供。2024年中の本格稼働を目指す。
- 西武鉄道拝島線沿線で電動キックボードシェアリングを活用した実証実験を開始
沿線住民の交通利便性向上と鉄道やバス等の公共交通の利用促進につながるかを検証



働き方の多様化に合わせたサービス変革

- 賃貸ガレージハウスのプロジェクト第2号物件「エミベース 小手指」
2023 年秋に竣工予定



スポーツ事業の強化

- 「SEIBU FAST SPORTS」プロジェクトを始動
第1弾として、西武グループのコース含むゴルフシミュレーター施設を品川プリンスホテルにオープン予定。
Webアプリ「SEIBU FAST SPORTSアプリ」を通じて手軽に予約決済を行うことで、日常生活の中でもっと「手軽に」「楽しく」スポーツできる環境を提供

2024/3期 1Q

2024/3期 2Q以降

■ デジタル経営（攻めのDX・マーケティング戦略、守りのDX）

■ 乗車ポイントサービスを拡充し、「リピートプラス」開始（2023年4月）

同じ月の中で、西武線内の同一運賃区間をご乗車いただいた回数に応じ「SEIBU Smile POINT」を進呈



■ SEIBU Smile POINTのPASMOチャージサービス開始（2023年4月）

□ 『PLAY!高架下』プロジェクト 地域の皆さまから募集したアイデアによる“初”のイベント「クリーニングデイ@Under the 恐竜」を開催（2023年7月）

□ 西武バスにおいて、自動運転技術早期社会実装とその先の旅客のさらなる安全な輸送を目指し先進技術を活用した**自動運転実証実験を実施**（2023年7月）

□ 対面での自然な多言語コミュニケーションを実現する**翻訳対応透明ディスプレイの実証実験**を西武新宿駅にて開始（2023年7月）

□ メールアドレスをIDとし西武グループの各サービスの相互利用を可能にする**顧客共通IDサービス開始**

□ 「SEIBU PRINCE CLUB」海外対応を推進

- ・ 2024年より海外事業所にてSEIBU Smile POINTのポイント進呈、利用開始

□ ホテルレジャーグループサイトの構築および西武・プリンスホテルズワールドワイドサイトの刷新、ホテルレジャーに特化したアプリをリリース予定

- ・ 2024年にプリンスホテル公式サイトを刷新 & スマートフォン・アプリ構築
- ・ お客さまの旅マエ・旅ナカ・旅アトでの旅サポート。SEIBU PRINCE CLUB会員にはより充実したサービスを提供



グループの多様なサービスを繰り返しご利用
いただく「西武グループのファン」を拡大

従前からの
お客さま
ご利用いただく
お客さまに満足いただく



新たな
お客さま
ご利用いただく
お客さま層を拓く



2024/3期 1Q

2024/3期 2Q以降

■ サステナビリティ

- 3ホテルにおいて**観光品質認証制度「サクラクオリティ」**および**SDGs**を実践する**宿泊施設の国際認証「Sakura Quality An ESG Practice（通称：サクラクオリティグリーン）」**を同時取得（2023年4月）

ホテル名	G7会場
グランドプリンスホテル広島	G7広島サミット
軽井沢プリンスホテル	G7長野県軽井沢外相会合
札幌プリンスホテル	G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合

- 西武バス新座営業所「**100%電気で走る大型路線バス**」運行開始（2023年4月）
- 箱根湯の花プリンスホテルにおいて**神奈川県内で“初”となるバイナリー発電設備を導入**（2023年6月）

- 西武鉄道において、列車内の犯罪抑止やセキュリティ向上を目的に、2025年度末までに全車両（2023年6月30日現在1,223両）に車内防犯カメラを設置
- スcope3の算出対象会社拡大、人的資本開示などサステナビリティ関連情報の開示充実を推進
- 消費エネルギーの削減、再生可能エネルギー導入などCO2削減施策の推進（目標：前年度比5%削減）



箱根湯の花プリンスホテル
バイナリー発電施設



西武バス新座営業所
大型電気バス

今後の開発プロジェクト

- 高輪・品川エリア、芝公園エリア、新宿エリアなど都心エリアの大規模再開発を段階的に実現（都心エリアについては施設計画を進め、2020年代後半から工事着手を目指す）。
- 沿線のバリューアップを推進するとともに、軽井沢、箱根、富良野など知名度の高いリゾートについてもサステナビリティを意識しながら保有資産の価値向上を実現。
- これら不動産事業を西武グループの成長のキードライバーとし、後述の不動産回転型ビジネスとともに、当社保有資産の価値極大化策として進める。



2023

2030

【品川駅周辺の交通ネットワーク拡充予定】

- ・リニア中央新幹線開業
- ・南北線延伸（品川・白金高輪間）
- ・京急品川駅地平化
- ・環状4号線開通
- ・国道15号上空デッキ整備

高輪エリア

第1期

第2期

第3期

品川エリアのまちづくりに着手

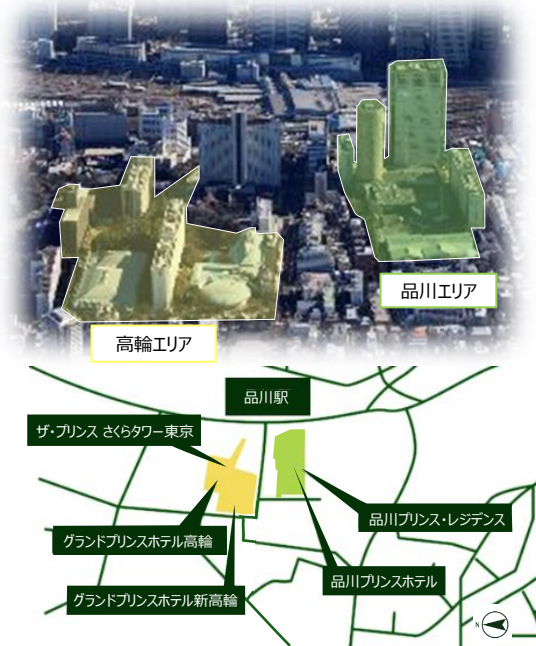
芝公園エリアのまちづくりに着手

新宿エリアのまちづくりに着手

軽井沢・箱根・富良野などリゾートのバリューアップを実行

- ✓ 国内外への広域交通アクセスに優れた**品川駅至近の立地**において、日本最大級の集積を誇る**ホテル・MICE機能の更新**を図りながら、都心での貴重な緑や歴史的な資源を生かしつつ、環境にも配慮した先進的な**オフィス・商業・住宅等の都市機能を導入**し、日本の**新たな玄関口となる複合市街地の形成**を目指す。

段階的なまちづくりにより既存事業の収益減を最小化しながらエリア最大級の地権者としてまちづくりを推進。



- ◆ザ・プリンス さくらタワー東京
- ◆グランドプリンスホテル高輪
- ◆グランドプリンスホテル新高輪

客室数(3ホテル合計):
約1,600室
宴会場数: 大小合わせ約60
宴会場

敷地面積: 約83,000㎡

- ◆品川プリンスホテル
客室数: 約3,500室
宴会場数: 大小合わせ約40宴会場

- ◆品川プリンス・レジデンス
賃貸マンション: 約260戸

敷地面積: 約45,000㎡

高輪
エリア

2022年1月 品川駅西口地区まちづくり指針 (高輪三丁目地区) より

世界の人々を迎え入れる品格ある迎賓都市・ 開かれたまちへの転換

品川駅西口地区まちづくり指針 (高輪三丁目地区)
実現に向けて

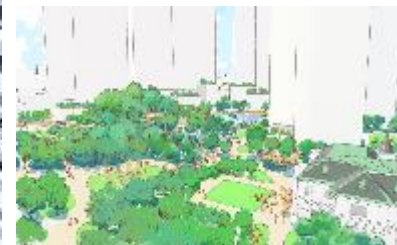
高輪エリア【高輪三丁目地区】イメージ



(環状4号・国道15号交差点より柘榴坂方面を望む)

■ 導入機能のイメージ

- ・ホテル
- ・MICE
- ・オフィス
- ・商業
- ・住宅
など



※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。今後のプラン検討によって変更する場合があります。

◆ 2022年11月 品川駅西口地区地区計画 都市計画変更

品川駅西口地区においては、品川駅とまちの連携を強化するバリアフリーの歩行者ネットワークや、豊かな自然とMICE等の都市機能が高度に融合した複合交流拠点等の整備を目指していく。

◆ 2023年6月 品川駅西口地区における土地区画整理事業の認可

独立行政法人都市再生機構が施行者として進める「品川駅西口土地区画整理事業」が2023年6月1日付で事業認可。

(参考) 芝公園エリアの街づくり

✓ 現在、芝公園を核としたまちづくり構想に基づき、ホテルの機能更新を図りつつ、歴史・文化資源の活用、緑の充実を図るための緑地整備等を意識したまちづくりを検討中

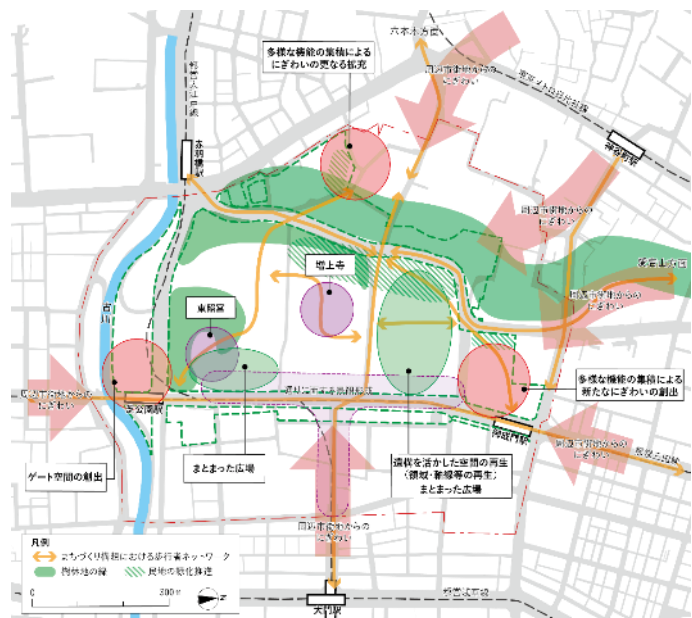
芝公園を核としたまちづくり構想

2020年2月東京都

◆ 芝公園エリアの将来像

「江戸の杜」に集う
江戸東京文化の体感と
国際的な交流の促進

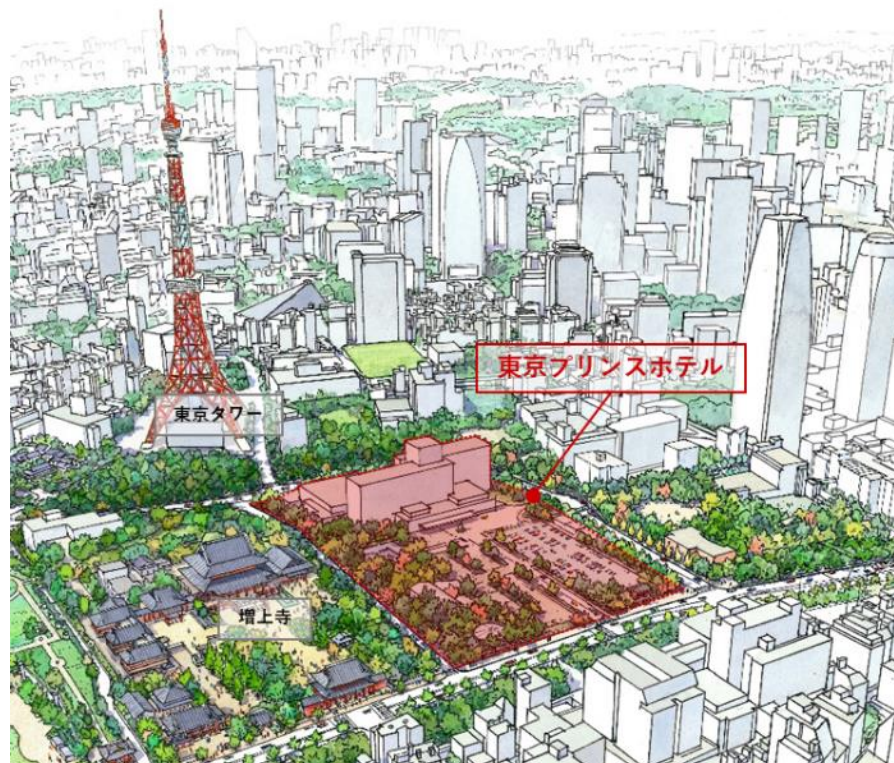
芝公園の江戸草創期の資産を顕在化するとともに、歴史的資源を活用し国際交流を促進するなど、都心に息づく江戸東京のレガシーを体感



芝公園の現状



土地面積：約50,000㎡
容積率：指定容積率200%、
使用容積率111%
ホテル（約460室）、
宴会場（24会場、計5,294㎡）



不動産回転型ビジネスの進捗

- 不動産回転型ビジネス（2023年5月11日開示）について、ロードマップに基づき検討を推進。
- 今後、協業パートナーと不動産ポートフォリオやBSマネジメントの検討を行うとともに、ノウハウの相互共有と不動産事業の強化に努める。

アセットライト経営を促進

獲得資金を新規開発および
成長投資等に再投資

AM事業への参入で
総合不動産会社へ飛躍

2024年5月（予定）
対象物件の決定・開示

2025年4月（予定）
体制構築を具体化

当社グループの目指す
ポートフォリオの策定

AM会社設立（2025年4月予定）
私募ファンド・REITの組成

中期的にAUM^{※2}3,000億円以上へ拡大

2023年8月1日
協業パートナーをみずほフィナンシャルグループ^{※1}に決定（本日）

都心エリアの大規模再開発

軽井沢・箱根・富良野などリゾートのバリューアップの実行（2024年5月に具体案を開示予定）

1億㎡を超える当社グループ保有資産の有効活用策の検討・実行



SEIBU REALTY SOLUTIONS

※上記はコーポレートロゴの使用例

- 西武リアルティソリューションズ（SRS）では、8月1日（火）より新たに「コーポレートメッセージ」並びに「コーポレートロゴ」を制定し、様々なPR制作物等にて使用し発信してまいります。
- このコーポレートメッセージは、常に時代を切り拓いてきた西武グループのDNAと豊富なアセットを受け継ぎ、SRSが総合不動産会社として「新たな領域」「未開発の領域」「最先端の領域」へ挑戦することを表現するものです。

業界No.1クオリティのホテルチェーン構築

各事業所（ホテル・ゴルフ・スキー）における
パフォーマンスの向上

- ・全オーナーに対するアカウントビリティ強化
- ・バリューアップ投資の引き出し
- ・期待を上回るリターンにより、長期にわたるMCの継続

業界No1クオリティ・250ホテル体制構築に向けた
ネットワークの拡大

- ・外部オーナーとのリレーション強化
- ・グローバル開発体制の構築（ステイwelとのインテグレーション）
- ・今後、戦略的M&Aなどの検討



営業アカウント拡大・外部オーナーリレーションにより着実に新規案件獲得

2023年7月開業

グランドプリンスホテル大阪ベイ
(大阪府 大阪市)

ブランド:グランドプリンスホテル
部屋数:480室

※2023年度開業予定

プリンススマートイン 宮崎

ブランド:プリンススマートイン
部屋数:163室

ザ・プリンス キタノ ニューヨーク
(アメリカ)

ブランド:ザ・プリンス
部屋数:150室

Park Regis by Prince
Dubai Island

ブランド:Park Regis by Prince
部屋数:159室

プリンススマートイン 名古屋栄

PRINCE SMART INN

ブランド:プリンススマートイン
部屋数:245室

出店最優先ターゲット

- | | |
|---------------|--------------|
| 【地方都市】 | 【アジア】 |
| ・大阪 | ・シドニー |
| ・仙台 | ・バンコク |
| ・福岡 | ・シンガポール |
| ・金沢 | ・台北 |

- 国内地方都市、海外APACを重点出店エリアと定めたセールス
- 既存顧客との関係性強化による開発案件情報網の確立
- 西武・プリンスホテルズワールドワイドとステイwelそれぞれの強みを活かしたカバレッジ展開、ノウハウ共有

2022/3期

2023/3期

2024/3期 以降

都市交通・沿線

◆ 2021年5月開業
西武園ゆうえんちリニューアル
旧としまえんの一部土地（約4万㎡）譲渡
（東京都市計画公園第5・5・10号練馬
城址公園事業に協力）

◆ 2022年12月
旧としまえんの一部土地（約4万㎡）譲渡
（東京都市計画公園第5・5・10号練馬
城址公園事業に協力）



◆ 2023年6月開業
ワーナー ブラザース スタジオツアー東京
- メイキング・オブ・ハリウッド・ポスター
（運営会社：ワーナー ブラザース スタジオジャパン）

◆ 2023年4月
西武線 池袋駅 豊島園駅リニューアル

新宿線連続立体交差事業の推進



国内ホテル

◆ 2021年4月開業
軽井沢PHウエスト 新客室棟・温泉棟

◆ 2022年4月開業
沖縄プリンスホテル
オーシャンビューぎのわん



◆ 2023年7月開業
グランドプリンスホテル大阪ベイ



◆ 2021年5月開業
プリンス スマート イン 京都四条大宮

◆ 2022年10月開業 プリンス スマート イン 博多

◆ 2024年初頭開業予定
プリンス スマート イン 宮崎
プリンス スマート イン 名古屋栄

◆ 2021年4月開業
プリンス スマート イン 熱海

◆ 2022年4月開業 プリンス スマート イン 那覇
プリンス スマート イン 京都三条

◆ 2022年11月開業
プリンス スマート イン 大阪淀屋橋

海外ホテル（2024/3期以降の主な開業予定施設）

- ザ・プリンス キタノ ニューヨーク（米・ニューヨーク）
- Park Regis by Prince Dubai Islands（UAE・ドバイ）
- The Prince Akatoki（中国・広州）
- Park Proxi El Hayat Sharm（エジプト・アラブ共和国）
- The Prince Akatoki Riverside Bangkok（タイ・バンコク）

不動産



◆ 2021年7月
エミオひばりヶ丘
スケールアップオープン

◆ 2021年12月 エミキューブ桜台入居募集開始

◆ 2022年3月 エミベース 入間 鍵山入居募集開始

◆ 2024年秋開業予定
所沢駅西口開発計画



◆ 2021年7月
「Karuizawa Prince The
Workation Core」開業

◆ 2022年4月 エミフィス所沢オープン

◆ 2022年4月
エミキューブ石神井公園入居募集開始

◆ 2023年秋
エミベース 小手指竣工予定



高輪・品川エリア、芝公園、新宿エリア等の大規模再開発計画の推進

リゾートエリア（軽井沢・箱根・富良野等）サステナビリティを意識した再開発計画の推進

I. エグゼクティブ・サマリー P3

II. 中期経営計画における取り組みの進捗状況 P8

III. セグメント情報及び営業指標 P20

IV. 決算実績詳細 P29

V. 連結業績予想、足元の動向 P33

VI. 補足資料 P37

都市交通・沿線事業 概況

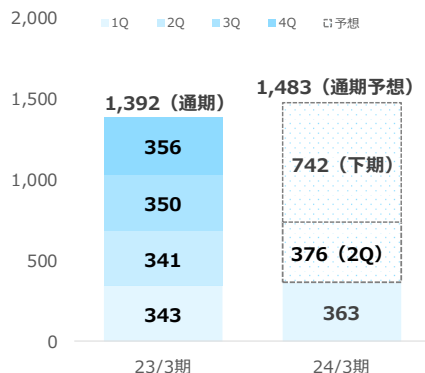
(金額単位：百万円)

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	34,323	36,349	+2,026	+5.9%	
鉄道業	22,435	24,743	+2,307	+10.3%	(+) 鉄道運輸収入の増加 (うちバリアフリー料金の収受9億円)
バス業	5,489	5,884	+394	+7.2%	(+) バス運輸収入の増加
沿線生活サービス業	4,782	4,323	△ 458	△ 9.6%	(-) グループ内組織再編に伴う運営形態の変更による減少 (利益影響僅少) (-) ポートレース多摩川の賃料収入の減少
スポーツ業	689	472	△ 216	△ 31.4%	(-) グループ内組織再編に伴う運営形態の変更による減少 (利益影響僅少)
その他	925	925	△ 0	△ 0.1%	
営業利益	3,048	5,355	+2,306	+75.7%	(+) 営業収益の増加 (+) 一般管理費の減少
償却前営業利益	7,964	10,384	+2,420	+30.4%	(-) 動力費・燃料油脂費、修繕費の増加

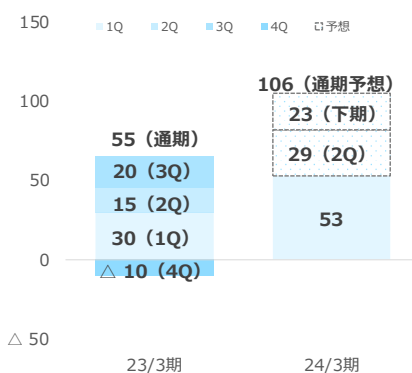
(注) 2024/3期より報告セグメントを変更しております。(37ページ参照)
前年同期の数値については、変更後の区分により記載しております。

四半期推移 (金額単位：億円)

営業収益



営業利益



西武鉄道 鉄道事業部門の主な費用

(金額単位：百万円)

	2024/3期 1Q	対前年同期 増減額
人件費	6,677	△ 65
修繕費	1,246	+ 168
動力費	1,862	+ 246
減価償却費	4,109	+ 97
固定資産除却費	119	+ 84

都市交通・沿線事業 鉄道業の運輸成績

輸送人員・旅客運輸収入（西武鉄道株式会社）

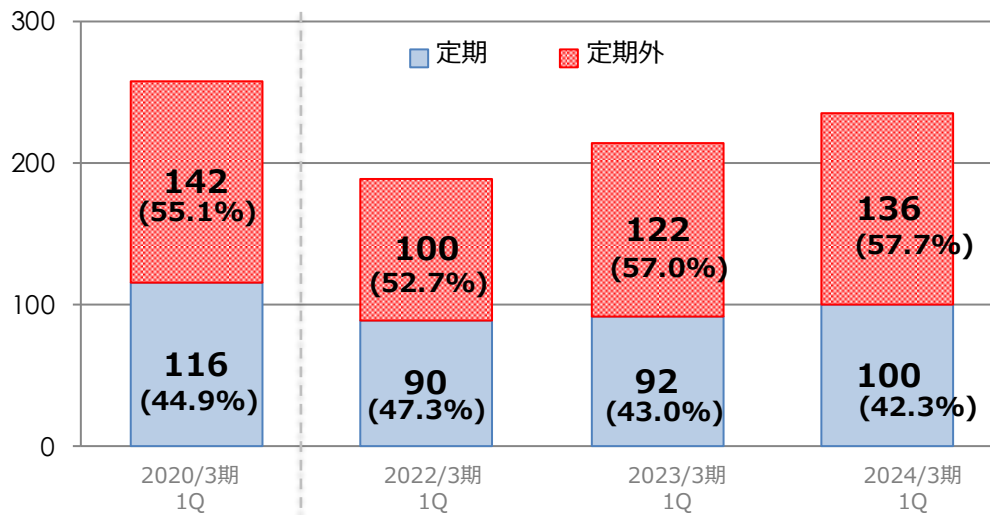
（人員単位：千人、金額単位：百万円）

	2020/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期 (増減率)	2023/3期 1Q	対前年同期 (増減率)	2024/3期 1Q	対前年同期 (増減率)
輸送人員	定期	107,936	+13.7%	87,664	+9.0%	91,272	+4.1%
	定期外	63,851	+59.3%	55,713	+19.7%	59,102	+6.1%
	計	171,787	+27.0%	143,377	+12.9%	150,375	+4.9%
旅客運輸 収入	定期	11,617	+6.7%	9,222	+2.4%	10,036	+8.8%
	定期外	14,267	+63.4%	12,228	+21.8%	13,684	+11.9%
	計	25,885	+30.6%	21,451	+12.6%	23,720	+10.6%

（単位：億円）

旅客運輸収入の推移

※（ ）内は構成比



ホテル・レジャー事業 概況

(金額単位：百万円)

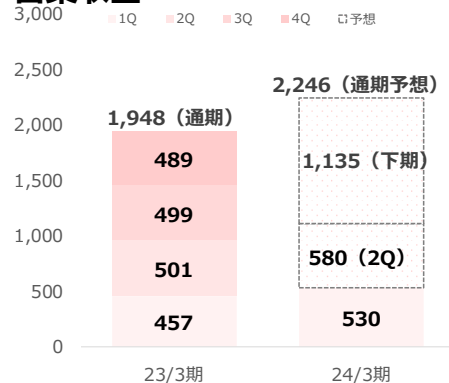
	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	45,712	53,039	+7,327	+16.0%	
国内ホテル業（保有・リース）	29,059	31,295	+2,235	+7.7%	(+) 国内ホテルにおける利用客の増加、ADRの上昇 (-) 行政機関からの要請による新型コロナ感染拡大防止対策としての貸出ホテルの減少 (-) 一部ホテルの資産譲渡に伴う直営から運営受託への変更による減少 △54億円
国内ホテル業（MC・FC）	66	2,620	+2,553	-	(+) 一部ホテルの資産譲渡に伴う直営から運営受託への変更による増加 +25億円
海外ホテル業（保有・リース）※	7,414	9,115	+1,701	+22.9%	(+) 海外ホテル業における為替影響
海外ホテル業（MC・FC）※	40	113	+73	+180.9%	
スポーツ業（保有・リース）	4,009	3,108	△900	△22.5%	(-) 一部ゴルフ場・スキー場の資産譲渡に伴う直営から運営受託への変更による減少 △9億円
スポーツ業（MC・FC）	-	501	+501	-	(+) 一部ゴルフ場・スキー場の資産譲渡に伴う直営から運営受託への変更による増加 +5億円
その他	5,122	6,284	+1,162	+22.7%	(+) 国内外レジャー施設における利用客の増加
営業利益	△394	3,524	+3,918	-	(+) 営業収益の増加（うち、資産譲渡影響（ネット）+11億円） (-) 人件費の増加
償却前営業利益	4,410	7,440	+3,029	+68.7%	

※ 海外ホテル業の第1四半期会計期間は主として1月～3月

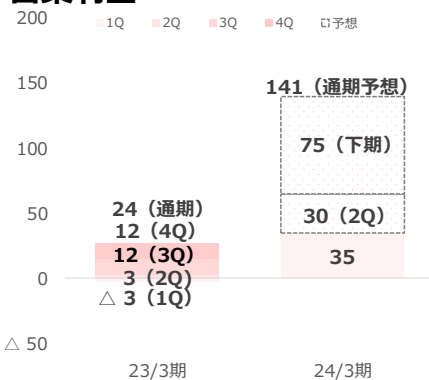
(注) 2024/3期より報告セグメントを変更しております。(37ページ参照)
前年同期の数値については、変更後の区分により記載しております。

四半期推移 (金額単位：億円)

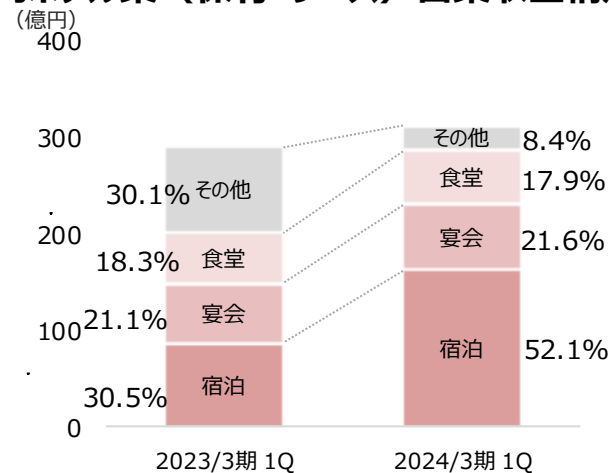
営業収益



営業利益



国内ホテル業（保有・リース）営業収益構成



ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

国内ホテル業の営業指標

(RevPAR・平均販売室料：円)

		20/3期 1Q	22/3期 1Q	対前年同期	23/3期 1Q	対前年同期	24/3期 1Q	対前年同期
RevPAR	保有・リース	12,502	2,660	+305.8%	5,506	+107.0%	12,634	+129.5%
	MC・FC	—	2,704	+119.8%	2,331	△13.8%	10,321	+342.7%
	国内ホテル業（全体）	12,502	2,661	+305.0%	5,382	+102.2%	11,989	+122.8%
平均販売室料	保有・リース	15,872	13,037	△14.0%	13,673	+4.9%	19,256	+40.8%
	MC・FC	—	11,053	△77.4%	65,070	+488.7%	17,922	△72.5%
	国内ホテル業（全体）	15,872	12,941	△15.0%	13,858	+7.1%	18,918	+36.5%
客室稼働率	保有・リース	78.8%	20.4%	+16.1pt	40.3%	+19.9pt	65.6%	+25.3pt
	MC・FC	—	24.5%	+21.9pt	3.6%	△20.9pt	57.6%	+54.0pt
	国内ホテル業（全体）	78.8%	20.6%	+16.3pt	38.8%	+18.3pt	63.4%	+24.5pt

参考：エリア別（国内ホテル業全体）

		20/3期 1Q	22/3期 1Q	対前年同期	23/3期 1Q	対前年同期	24/3期 1Q	対前年同期
RevPAR	首都圏・中日本	14,460	2,575	+227.5%	4,884	+89.7%	13,767	+181.9%
	高輪・品川エリア	14,296	1,719	+143.6%	3,789	+120.4%	12,798	+237.8%
	東日本	7,537	2,910	+841.4%	6,163	+111.8%	7,420	+20.4%
	軽井沢エリア	16,297	8,137	+652.8%	14,532	+78.6%	17,056	+17.4%
	西日本	12,205	2,717	+321.8%	6,583	+142.3%	11,150	+69.4%
平均販売室料	首都圏・中日本	16,761	12,355	△23.0%	13,564	+9.8%	20,532	+51.4%
	高輪・品川エリア	15,968	11,043	△15.5%	11,193	+1.4%	19,764	+76.6%
	東日本	13,163	13,797	+6.7%	13,147	△4.7%	15,197	+15.6%
	軽井沢エリア	24,993	22,711	+26.7%	25,221	+11.1%	29,426	+16.7%
	西日本	14,592	15,327	+19.7%	16,462	+7.4%	16,392	△0.4%
客室稼働率	首都圏・中日本	86.3%	20.8%	+15.9pt	36.0%	+15.2pt	67.1%	+31.0pt
	高輪・品川エリア	89.5%	15.6%	+10.2pt	33.8%	+18.3pt	64.8%	+30.9pt
	東日本	57.3%	21.1%	+18.7pt	46.9%	+25.8pt	48.8%	+1.9pt
	軽井沢エリア	65.2%	35.8%	+29.8pt	57.6%	+21.8pt	58.0%	+0.3pt
	西日本	83.6%	17.7%	+12.7pt	40.0%	+22.3pt	68.0%	+28.0pt

(注1) 各区分に含まれるホテル名称を39ページに記載しております。

(注2) RevPARおよび客室稼働率の算出に用いる客室総数には、行政機関へのホテル客室全室貸出に伴い一時営業休止していたホテルおよび需要動向等を踏まえて臨時休業したホテルの客室を含んでおります。

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

海外ホテル業（保有・リース）の営業指標

※ 1Qは1月～3月の実績

■ ハワイ

	2020/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期	2023/3期 1Q	対前年同期	2024/3期 1Q	対前年同期
RevPAR (円)	31,528	16,745	△ 39.1%	38,883	+ 132.2%	46,130	+ 18.6%
RevPAR (米ドル)	274.15	155.04	△ 40.3%	360.03	+ 132.2%	354.85	△ 1.4%
平均販売室料 (円)	40,802	34,300	△ 9.9%	47,319	+ 38.0%	56,140	+ 18.6%
平均販売室料 (米ドル)	354.80	317.60	△ 11.5%	438.14	+ 38.0%	431.85	△ 1.4%
客室稼働率	77.3%	48.8%	△ 23.5pt	82.2%	+ 33.4pt	82.2%	△ 0.0pt

■ The Prince Akatoki London

	2020/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期	2023/3期 1Q	対前年同期	2024/3期 1Q	対前年同期
RevPAR (円)	—	—	△ 100.0%	12,733	—	32,435	+ 154.7%
RevPAR (英ポンド)	—	—	△ 100.0%	90.67	—	193.71	+ 113.7%
平均販売室料 (円)	—	—	△ 100.0%	41,233	—	48,771	+ 18.3%
平均販売室料 (英ポンド)	—	—	△ 100.0%	293.60	—	291.28	△ 0.8%
客室稼働率	—	—	△ 60.0pt	30.9%	+ 30.9pt	66.5%	+ 35.6pt

(注) 2020/3期9月より運営開始、2022/3期1Qは営業休止

ホテル・レジャー事業 インバウンドの状況（宿泊客数・室料収入）

国内ホテル業（全体）

（人員単位：千人）

		20/3期 1Q	22/3期 1Q	対前年同期	23/3期 1Q	対前年同期	24/3期 1Q	対前年同期
宿泊客数	邦人客	880	388	+ 496.0%	776	+ 100.1%	760	△ 2.1%
	外国人客	345	1	+ 430.1%	7	+ 252.1%	304	+ 4252.4%
	計	1,226	390	+ 495.6%	783	+ 100.8%	1,065	+ 36.0%
	外国人客比率	28.2%	0.5%	△ 0.1pt	0.9%	+ 0.4pt	28.6%	+ 27.7pt

参考：国内ホテル業（保有・リース）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

		20/3期 1Q	22/3期 1Q	対前年同期	23/3期 1Q	対前年同期	24/3期 1Q	対前年同期
宿泊客数	邦人客	880	371	+ 472.8%	772	+ 107.8%	529	△ 31.4%
	外国人客	345	0	+ 77.9%	6	+ 946.3%	239	+ 3,334.0%
	計	1,226	372	+ 470.5%	779	+ 109.3%	769	△ 1.3%
	外国人客比率	28.2%	0.2%	△ 0.4pt	0.9%	+ 0.7pt	31.1%	+ 30.3pt
室料収入	外国人客	6,813	26	△ 50.7%	343	+ 1,202.1%	6,588	+ 1,820.8%
	外国人客比率	38.8%	0.7%	△ 5.1pt	4.3%	+ 3.6pt	45.2%	+ 40.9pt

参考：国内ホテル業（保有・リース） 外国人宿泊客数および室料収入の構成比

	外国人宿泊客数		外国人客 室料収入		
	23/3期 1Q	24/3期 1Q	23/3期 1Q	24/3期 1Q	
構成比	中国	5.3%	9.2%	4.2%	9.9%
	台湾	2.2%	16.3%	1.6%	8.1%
	韓国	12.5%	9.9%	13.0%	7.7%
	香港	1.0%	5.2%	2.3%	4.9%
	タイ	2.8%	6.4%	2.0%	4.3%
	その他アジア	18.6%	16.8%	15.6%	14.7%
	北米・欧州	46.6%	26.2%	47.9%	38.3%
	その他	10.9%	10.1%	13.4%	12.1%

不動産事業 概況

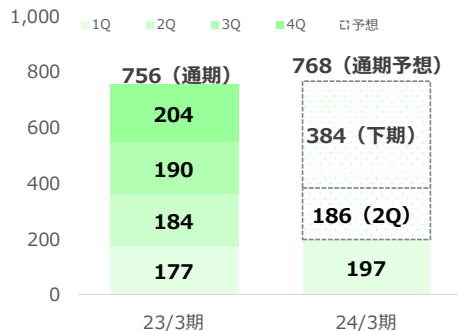
(金額単位：百万円)

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	17,750	19,789	+2,038	+11.5%	
不動産賃貸業	10,330	10,852	+522	+5.1%	(+) 一部オフィステナント入居に伴う賃料収入の増加 (+) 商業施設利用の増加
その他	7,420	8,936	+1,516	+20.4%	(+) 造園請負工事の増収
営業利益	3,309	3,939	+629	+19.0%	(+) 営業収益の増加
償却前営業利益	6,243	6,826	+583	+9.3%	

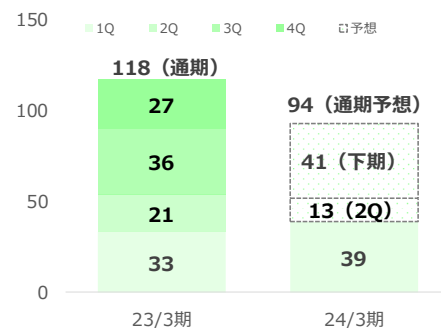
(注) 2024/3期より報告セグメントを変更しております。(37ページ参照)
前年同期の数値については、変更後の区分により記載しております。

四半期推移 (金額単位：億円)

営業収益



営業利益



建物賃貸物件の期末貸付面積

(面積：千㎡)

	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	対前年同期 (増減面積)
商業施設	246	246	244	253	+ 8
オフィス・住宅	206	204	196	215	+ 19

(注) 土地の賃貸は含んでおりません。

建物賃貸物件の期末空室率

	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	対前年同期
商業施設	1.4%	2.9%	2.1%※	3.0%	+ 1.0pt
オフィス・住宅	3.0%	3.8%	7.1%※	2.9%	△ 4.2pt

※ オフィステナントの一部退去による上昇

その他 概況、スポーツ関連

■その他

(金額単位：百万円)

	2023/3期	2024/3期	対前年同期		摘要
	1Q	1Q	(増減額・率)		
営業収益	11,712	13,416	+1,703	+14.5%	(+) 前期の横浜アリーナの改修工事に伴う休業の反動増 (+) 伊豆箱根事業および近江事業におけるバス、タクシー利用、観光需要の増加 (+) プロ野球観客動員数等の増加
営業利益	1,299	1,618	+319	+24.6%	(+) 営業収益の増加 (-) 人件費の増加
償却前営業利益	2,180	2,637	+456	+21.0%	

四半期推移 (金額単位：億円)

営業収益



営業利益



■スポーツ関連の営業収益 ※

(金額単位：百万円)

	2023/3期	2024/3期	対前年同期		摘要
	1Q	1Q	(増減額・率)		
営業収益	11,564	11,944	+380	+3.3%	都市交通・沿線事業（スポーツ業） 前年同期比 △2億円 ホテル・レジャー事業（スポーツ業） 前年同期比 △3億円 その他（スポーツ事業） 前年同期比 +9億円

※ 都市交通・沿線事業およびホテル・レジャー事業におけるスポーツ業、ならびにその他に含まれるスポーツ事業の営業収益の合計

I. エグゼクティブ・サマリー	P3
II. 中期経営計画における取り組みの進捗状況	P8
III. セグメント情報及び営業指標	P20
IV. 決算実績詳細	P29
V. 連結業績予想、足元の動向	P33
VI. 補足資料	P37

連結損益計算書サマリー

(金額単位：百万円)

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	対前年同期	摘要
営業収益	103,432	116,212	+12,779	都市交通・沿線：+20億円、ホテル・レジャー：+73億円、不動産：+20億円、その他：+17億円、調整額：△3億円
営業利益	7,624	14,653	+7,029	都市交通・沿線：+23億円、ホテル・レジャー：+39億円、不動産：+6億円、その他：+3億円、調整額：△1億円
営業外収益	2,502	1,480	△ 1,022	
営業外費用	2,617	2,318	△ 298	
経常利益	7,509	13,815	+6,305	
特別利益	246	97	△ 148	
特別損失	776	377	△ 398	
税金等調整前四半期純利益	6,979	13,535	+6,556	
法人税等	2,987	4,289	+1,302	法人税、住民税及び事業税 +7億円、法人税等調整額 +5億円
四半期純利益	3,992	9,246	+5,254	
非支配株主に帰属する四半期純利益	323	146	△ 177	
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,668	9,099	+5,431	

営業外・特別損益

(金額単位：百万円)

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	対前年同期	摘要
営業利益	7,624	14,653	+7,029	
営業外収益	2,502	1,480	△ 1,022	
受取利息・配当金	441	558	+116	
バス路線運行維持費補助金	108	110	+1	
持分法による投資利益	0	—	△ 0	
為替差益	803	496	△ 306	
雇用調整助成金等受入額	546	12	△ 534	
その他営業外収益	602	303	△ 298	
営業外費用	2,617	2,318	△ 298	
支払利息	2,019	1,897	△ 121	
持分法による投資損失	—	65	+65	
その他営業外費用	598	355	△ 242	
経常利益	7,509	13,815	+6,305	
特別利益	246	97	△ 148	
固定資産売却益	178	2	△ 176	
工事負担金等受入額	50	40	△ 10	
補助金収入	16	55	+38	
特別損失	776	377	△ 398	
減損損失	295	1	△ 294	
固定資産売却損	—	23	+23	
固定資産除却損	262	249	△ 13	
工事負担金等圧縮額	50	38	△ 12	
固定資産圧縮損	15	50	+35	
投資有価証券評価損	141	0	△ 141	
その他特別損失	10	14	+3	
税金等調整前四半期純利益	6,979	13,535	+6,556	

連結貸借対照表サマリー

(金額単位：百万円)

	2023/3期 期末	2024/3期 1Q末	対前期	摘要
資産 合計	1,587,834	1,579,120	△ 8,713	
流動資産	94,373	86,263	△ 8,110	受取手形、売掛金及び契約資産 △3,297 現金及び預金 △2,234 その他 △3,013 (受託工事に係る未収金の減少など)
固定資産	1,493,460	1,492,857	△ 603	有形・無形固定資産 △8,095 投資有価証券 +7,014
負債 合計	1,210,201	1,193,179	△ 17,021	
流動負債	367,867	351,248	△ 16,619	未払法人税等 △7,365 支払手形及び買掛金 △4,405 その他 △47,827 (工事未払金の減少など) 短期借入金 +20,809 前受金 +17,281 賞与引当金 +4,877
固定負債	842,333	841,931	△ 401	長期借入金 △3,797 繰延税金負債 +3,249
純資産 合計	377,633	385,941	+8,307	
自己資本	372,451	380,650	+8,198	その他有価証券評価差額金 +5,320 利益剰余金 +3,074
非支配株主持分	4,988	5,097	+108	
有利子負債 期末残高	793,301	810,284	+16,983	
ネット有利子負債	767,312	786,530	+19,218	
自己資本比率	23.5%	24.1%	+0.6pt	
D/Eレシオ (倍)	2.1	2.1	△ 0.0	

I. エグゼクティブ・サマリー	P3
II. 中期経営計画における取り組みの進捗状況	P8
III. セグメント情報及び営業指標	P20
IV. 決算実績詳細	P29
V. 連結業績予想、足元の動向	P33
VI. 補足資料	P37

2024年3月期通期 連結業績予想（変更なし）

ホテル・レジャー事業を中心に、第1四半期は想定を上回って進捗し、第2四半期以降においても各種経費のコントロールや動力費の下振れなどによる固定費減少が見込まれる一方、今後も期初に想定した通りの回復動向を辿っていけるかは現段階ではまだ注視が必要な状況であることから、5月11日公表予想を据え置き

■ 2024年3月期 第2四半期（累計） 予想

（金額単位：億円）

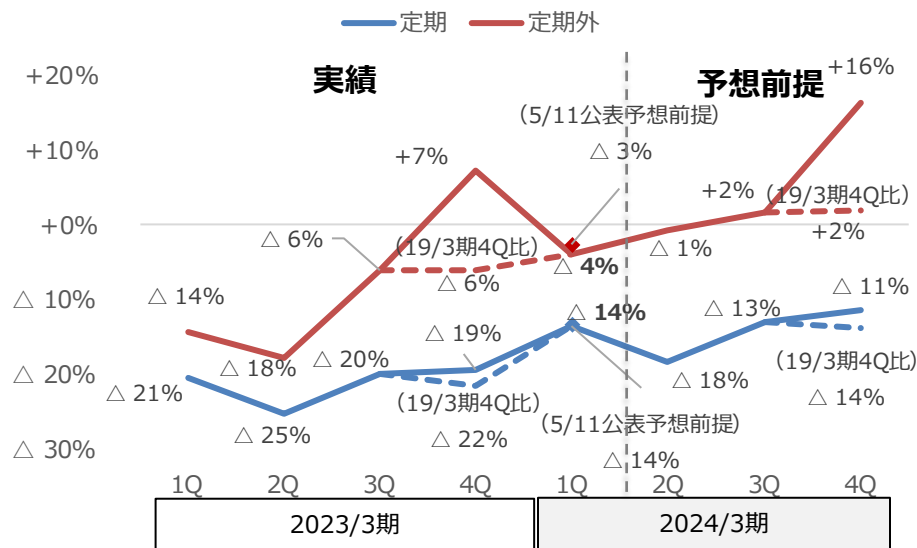
	連結	都市交通・沿線事業	ホテル・レジャー事業	不動産事業	その他	調整額		
	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期
営業収益	2,360 + 11.0%	740 + 8.1%	1,111 + 15.9%	384 + 6.3%	268 + 13.2%	△ 144	-	-
営業利益	230 + 71.4%	82 + 80.3%	65 -	53 △ 3.0%	32 + 28.3%	△ 4	-	-
償却前営業利益	500 + 21.4%	181 + 24.5%	146 + 55.9%	110 △ 2.1%	53 + 21.2%	7 △ 46.3%		
経常利益	200 + 57.1%							
親会社株主に帰属する 四半期純利益	130 △ 79.9%							

■ 2024年3月期 通期予想

	連結	都市交通・沿線事業	ホテル・レジャー事業	不動産事業	その他	調整額		
	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期
営業収益	4,620 + 7.8%	1,483 + 6.5%	2,246 + 15.3%	768 + 1.6%	429 + 9.5%	△ 307	-	-
営業利益	360 + 62.5%	106 + 92.3%	141 + 485.2%	94 △ 20.5%	11 + 92.9%	6 △ 61.9%		
償却前営業利益	900 + 16.5%	313 + 20.4%	304 + 54.2%	210 △ 10.5%	54 + 18.5%	17 △ 49.1%		
経常利益	300 + 49.0%							
親会社株主に帰属する 当期純利益	240 △ 57.7%							

足元の動向（鉄道業）

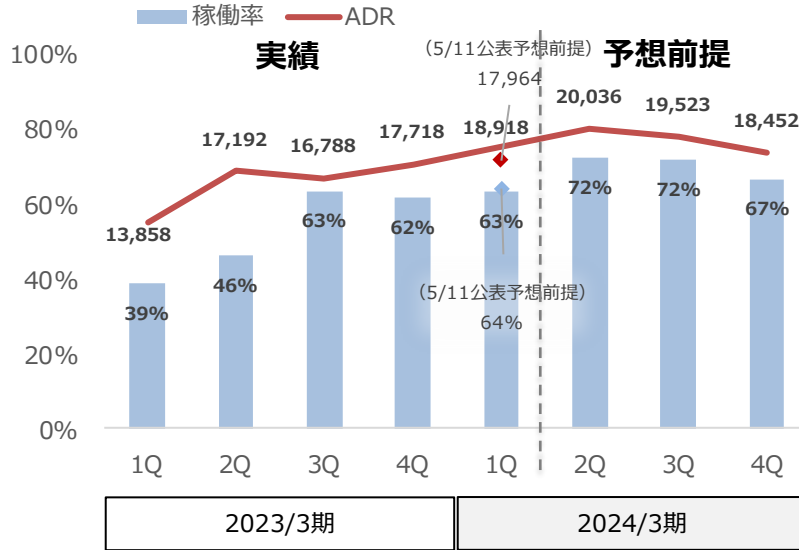
■ 旅客運輸収入の推移（2020/3期比）



■ 足元の改札通過人員（前年同月比）

2023年	4月	5月	6月	7月1日～21日
定期	+6.5%	+8.1%	+3.8%	+6%
(2019年度比)	(△ 19.3%)	(△ 17.6%)	(△ 15.4%)	(△ 20%)
定期外	+8.8%	+6.4%	+4.3%	+9%
(2019年度比)	(△ 6.3%)	(△ 5.2%)	(△ 7.3%)	(△ 7%)
計	+7.6%	+7.3%	+4.0%	+8%
(2019年度比)	(△ 13.3%)	(△ 12.1%)	(△ 11.9%)	(△ 14%)

■ ADRと客室稼働率の推移



■ 足元の営業指標（前年同月比）

2023年	4月	5月	6月
RevPAR (2019年度比)	+153.3% (△ 10.6%)	+107.9% (△ 1.8%)	+112.9% (+1.3%)
平均販売室料 (2019年度比)	+44.3% (+15.4%)	+31.9% (+23.8%)	+34.1% (+19.7%)
客室稼働率 (2019年度比)	+ 26.2pt (△ 17.7pt)	+ 22.9pt (△ 16.3pt)	+ 24.7pt (△ 12.1pt)
(当期実績値)	(60.9%)	(62.6%)	(66.7%)

■ 宿泊予約状況（7/24時点）

- ✓ 2023年7月：全国旅行支援の終了はあるもののSEIBU PRINCE CLUB会員やインバウンド利用の伸長により、RevPARは2019年7月の103%程度となる見込み（ADRは2019年7月の124%程度、稼働率（実数）は66%程度）
- ✓ 2023年8月：主に軽井沢、大磯などのリゾート中心に、お盆期間中心に高単価での取込みが図れており、RevPARは2019年8月の103%程度を見込む（ADRは2019年8月の120%程度、稼働率（実数）は72%程度）
- ✓ インバウンドの8月・9月予約状況は、室料収入ベースでは2018年同時期の105%程度、予約室数は同80%程度で推移

I. エグゼクティブ・サマリー	P3
II. 中期経営計画における取り組みの進捗状況	P8
III. セグメント情報及び営業指標	P20
IV. 決算実績詳細	P29
V. 連結業績予想、足元の動向	P33
VI. 補足資料	P37

2024/3期の報告セグメントの変更・変更の影響

✓ グループ内組織再編に伴い報告セグメントに含む事業を変更

(金額単位：億円)

■ 営業収益

23/3期 1Q

(変更前)

23/3期 1Q

(変更後)

都市交通・沿線事業	355			343
ホテル・レジャー事業	447		西武園ゆうえんち等 9億円	457
不動産事業	175	一部ゴルフ場等運営管理 0億円	Nicot・としまえん跡地賃貸等 2億円	177
その他	117			117

■ 営業利益

23/3期 1Q

(変更前)

23/3期 1Q

(変更後)

都市交通・沿線事業	24		西武園ゆうえんち等 Δ 5億円	30
ホテル・レジャー事業	0			Δ 3
不動産事業	35	一部ゴルフ場等運営管理 1億円	Nicot・としまえん跡地賃貸等 Δ 0億円	33
その他	12			12

■ 償却前営業利益

23/3期 1Q

(変更前)

23/3期 1Q

(変更後)

都市交通・沿線事業	76		西武園ゆうえんち等 Δ 3億円	79
ホテル・レジャー事業	44			44
不動産事業	65	一部ゴルフ場等運営管理 2億円	Nicot・としまえん跡地賃貸等 Δ 0億円	62
その他	21			21

ホテル・レジャー事業 施設概要

■ 国内ホテル業

	ホテル数 (か所)		客室数 (室)	
	2022/6末	2023/6末	2022/6末	2023/6末
国内ホテル業	54	57	18,884	19,549
保有・リース	52	42	18,231	13,537
MC・FC	2	15	653	6,012

参考：エリア別（国内ホテル業全体）

	ホテル数 (か所)		客室数 (室)	
	2022/6末	2023/6末	2022/6末	2023/6末
首都圏・中日本	26	26	10,969	10,963
高輪・品川エリア	4	4	5,138	5,138
東日本	19	19	5,615	5,614
軽井沢エリア	3	3	687	687
西日本	9	12	2,300	2,972

※ 2023年4月1日のグループ内における組織・運営体制の変更に伴い、一部ホテルの区分を変更しております（39ページ参照）。前年同期の数値については、変更後の区分により記載しております。

■ 海外ホテル業

	ホテル数 (か所)		客室数 (室)	
	2022/3末	2023/3末	2022/3末	2023/3末
海外ホテル業	33	28	5,570	4,853
保有・リース	12	12	1,518	1,518
ハワイ	3	3	1,064	1,064
The Prince Akatoki	1	1	82	82
MC・FC	21	16	4,052	3,335

国内ホテル業に含むホテル一覧 (2023年6月30日時点)

エリア	保有・リース	MC・FC (Management Contract・Franchise Contract)		
首都圏・中日本 (高輪・品川エリアに含むホテルを下線で表示)	<table border="0"> <tr> <td> ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町 東京プリンスホテル ザ・プリンス さくらタワー東京 <u>グランドプリンスホテル高輪</u> <u>グランドプリンスホテル新高輪</u> <u>品川プリンスホテル</u> 新宿プリンスホテル サンシャインシティプリンスホテル 川越プリンスホテル 中国割烹旅館掬水亭※ 新横浜プリンスホテル 鎌倉プリンスホテル </td> <td> 大磯プリンスホテル プリンス スマート イン恵比寿 ザ・プリンス 箱根芦ノ湖 龍宮殿 箱根湯の花プリンスホテル 箱根仙石原プリンスホテル 箱根園コテージ 三養荘 プリンス バケーション クラブ 三養荘 川奈ホテル プリンス スマート イン熱海 </td> </tr> </table>	ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町 東京プリンスホテル ザ・プリンス さくらタワー東京 <u>グランドプリンスホテル高輪</u> <u>グランドプリンスホテル新高輪</u> <u>品川プリンスホテル</u> 新宿プリンスホテル サンシャインシティプリンスホテル 川越プリンスホテル 中国割烹旅館掬水亭※ 新横浜プリンスホテル 鎌倉プリンスホテル	大磯プリンスホテル プリンス スマート イン恵比寿 ザ・プリンス 箱根芦ノ湖 龍宮殿 箱根湯の花プリンスホテル 箱根仙石原プリンスホテル 箱根園コテージ 三養荘 プリンス バケーション クラブ 三養荘 川奈ホテル プリンス スマート イン熱海	ザ・プリンス パークタワー東京 東京ベイ潮見プリンスホテル 下田プリンスホテル
ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町 東京プリンスホテル ザ・プリンス さくらタワー東京 <u>グランドプリンスホテル高輪</u> <u>グランドプリンスホテル新高輪</u> <u>品川プリンスホテル</u> 新宿プリンスホテル サンシャインシティプリンスホテル 川越プリンスホテル 中国割烹旅館掬水亭※ 新横浜プリンスホテル 鎌倉プリンスホテル	大磯プリンスホテル プリンス スマート イン恵比寿 ザ・プリンス 箱根芦ノ湖 龍宮殿 箱根湯の花プリンスホテル 箱根仙石原プリンスホテル 箱根園コテージ 三養荘 プリンス バケーション クラブ 三養荘 川奈ホテル プリンス スマート イン熱海			
東日本 (軽井沢エリアに含むホテルを下線で表示)	<table border="0"> <tr> <td> 富良野プリンスホテル 新富良野プリンスホテル 十和田プリンスホテル ザ・プリンス ヴィア軽井沢 <u>ザ・プリンス 軽井沢</u> <u>軽井沢プリンスホテル</u> 軽井沢浅間プリンスホテル プリンス バケーション クラブ 軽井沢浅間 プリンス バケーション クラブ ヴィア軽井沢浅間 </td> <td> 孺恋プリンスホテル 志賀高原プリンスホテル </td> </tr> </table>	富良野プリンスホテル 新富良野プリンスホテル 十和田プリンスホテル ザ・プリンス ヴィア軽井沢 <u>ザ・プリンス 軽井沢</u> <u>軽井沢プリンスホテル</u> 軽井沢浅間プリンスホテル プリンス バケーション クラブ 軽井沢浅間 プリンス バケーション クラブ ヴィア軽井沢浅間	孺恋プリンスホテル 志賀高原プリンスホテル	札幌プリンスホテル 屈斜路プリンスホテル 釧路プリンスホテル 函館大沼プリンスホテル 雫石プリンスホテル 苗場プリンスホテル 万座プリンスホテル 万座高原ホテル
富良野プリンスホテル 新富良野プリンスホテル 十和田プリンスホテル ザ・プリンス ヴィア軽井沢 <u>ザ・プリンス 軽井沢</u> <u>軽井沢プリンスホテル</u> 軽井沢浅間プリンスホテル プリンス バケーション クラブ 軽井沢浅間 プリンス バケーション クラブ ヴィア軽井沢浅間	孺恋プリンスホテル 志賀高原プリンスホテル			
西日本	<table border="0"> <tr> <td> 名古屋プリンスホテル スカイタワー びわ湖大津プリンスホテル プリンス スマート イン 京都四条大宮 プリンス スマート イン 京都三条 </td> <td> 日南海岸 南郷プリンスホテル 沖縄プリンスホテル オーシャンビューぎのわん プリンス スマート イン 博多 プリンス スマート イン 那覇 </td> </tr> </table>	名古屋プリンスホテル スカイタワー びわ湖大津プリンスホテル プリンス スマート イン 京都四条大宮 プリンス スマート イン 京都三条	日南海岸 南郷プリンスホテル 沖縄プリンスホテル オーシャンビューぎのわん プリンス スマート イン 博多 プリンス スマート イン 那覇	ザ・プリンス 京都宝ヶ池 グランドプリンスホテル広島 ザ ホテル青龍 京都清水 プリンス スマート イン 大阪淀屋橋
名古屋プリンスホテル スカイタワー びわ湖大津プリンスホテル プリンス スマート イン 京都四条大宮 プリンス スマート イン 京都三条	日南海岸 南郷プリンスホテル 沖縄プリンスホテル オーシャンビューぎのわん プリンス スマート イン 博多 プリンス スマート イン 那覇			

※ 2023年4月1日のグループ内における組織・運営体制の変更に伴い、国内ホテル業（保有・リース）に区分を変更しております。本資料内の2022年度以前の数値についても同事業所を加えて算出しております。

ディスクレーマー

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び不確実な要因に係る仮定を前提として作成しており、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。